

6. 読者のひろば

株式会社ヒューリスティック

井上典之

私は技術コンサルタント会社を経営しています。仕事の関係でエネルギー問題に関心を持ち、水素エネルギー協会の個人会員にいただいています。なぜ私がエネルギー問題に興味を持っているかをこの場をお借りして説明し、皆様のご意見をいただきたいと思っております。

私どもの会社には、実に多種多様の技術がらみの仕事の依頼があります。新素材、バイオテクノロジー、オプトエレクトロニクス、半導体関連、など多岐にわたりますが、これとは別に、特に変わった業務として砂漠の緑化事業に取り組んでおり、これはかなり長期的なプロジェクトになると思えます。砂漠の緑化を事業として取り組んでみようと考えたいきさつは、次のような事です。すなわち、数年前サウジアラビア、エジプトに出張する機会があり、初めて訪れたこれらの国は、まさに小学校の時に読んだシンドバットの冒険の世界そのものでした。異様な臭い、乾いてほこりっぽい空気、照りつける太陽、アラブ独自の衣装をまとい街中を歩き回る人々等、全てが新しい体験でした。これを機会に、帰国後中近東諸国に興味を持ち、イスラム諸国に関する書物を色々読んでみました。その結果（これは必ずしもイスラム諸国に限ったことでは有りませんが）、かなりの国が砂漠化の問題を抱えていることが分かりました。

砂漠化の原因には実に様々なものがあります。もちろん年間降水量が絶対的に少ない、という気候の問題もありますが、エネルギー政策に関連した要因もあります。と言うのは、途上国では、木を燃やして食事の用意をします。森林がエネルギー源として利用されていることになります。一つの村の人口が少ないうちは木をエネルギー源として使っても、数年の後には緑が再生されるので問題はないのですが、人口が多くなると緑の再生は間に合わなくなり、砂漠化が進みます。弊社はアブ・ダビ、エジプト、サウジ、オマーンなどにおいて砂漠の緑化事業を計画しています。塩害などの難しい課題がたくさんありますが、じっくり取り組み緑化を進めたいと考えています。

将来緑化が成功したら、次のステップとして、せっかく回復した緑を再び砂漠化させない努力をしなければなりません。その時に、上記のような理由により、エネルギー政策の指導、啓蒙活動などが必要となります。

また、わが国のエネルギー事情を省みたときに、やはり何と言っても石油にかなり依存していることは間違い有りません。しかしすでに指摘されているように、化石燃料にはCO₂を排出し地球温暖化の原因になること、酸性雨の原因となるNO_x、SO_xを発生することなどの欠点があります。

これまで先進国は経済合理性の追求ということをテーマに技術開発を進めてきました。その結果酸性雨，地球温暖化など様々な問題が生じています。私どもは今後，自然と人間との調和，という観点からエネルギー問題に取り組んでいきたいと考えています。具体的には，燃料電池，水素エネルギー，地熱発電などのクリーンエネルギー，太陽エネルギーポンプなどの無公害機器類などについて調査，研究しています。